

6月定例会
総括
質問
 主な質問と答弁

渡辺 敏光 議員

ツインシティ計画

問 5月にまちづくりシンポジウムが開かれたが、どのような話があったのか。
市長 県の副知事は寒川町倉見地区への新幹線新駅誘致の実現への思いを述べた。私は大神地区を新たな産業の拠点とするまちづくりの重要性を申し上げた。
問 副知事の説明では、経済や人口への効果は新駅ができてから10年ほど後だという。しかも、新駅の設定はリニア中央新幹線ができてからで、そのうえ状況は厳しいという。だとすると、かなり先の話になるのか。
都市整備部長 リニア中央新幹線の開業は2027年の予定である。ただし、そ

日本共産党平塚市議会議員団

の前にまちはある程度できあがっており、住民は豊かな生活を享受できると思う。
問 このまちは、エリアの3分の1弱がイオンモールで、それ以外に特徴がない。本当に住民に魅力あるまちなのか疑わしいが。
都市整備部長 現在、大神地区にこのような施設はないので非常に便利になる。またこの計画は平塚の新たな産業の拠点を創出する。
問 土地区画整理組合設立への地権者の同意状況は。
市長 6月11日現在、人数では地権者350人中220人(約63%)で、面積では58ヘクタール中30・2ヘクタール(約52%)である。
問 土地区画整理組合設立

の条件となる3分の2の賛成をかりうじてクリアした場合の対応はどうするのか。
都市整備部長 3分の2では事業が展開していかないと事業運営は厳しい。8割から9割の賛成がないと事業運営は厳しい。
問 独自に調査したところ、反対意見が多い。数十年前のまちであるなら、住民全体の合意を得るような取り組みが必要ではないか。
都市整備部長 公平に地権者と意見交換できる場を持ち、不信感を払しょくする。
提案型ネーミングライツの導入
問 ネーミングライツは、市の施設に企業が企業名や商品名を冠した愛称を付与

松本 敏子 議員

職員の法令の遵守に関する条例案

問 本市は市民から信頼される組織を目指すし、公正に職務を遂行するため、条例

を制定するという。公務員の法令遵守の大原則は、憲法にのっとった業務遂行である。しかし職員の中に「憲法は政治」と解釈する傾向がある。内部を含め、どこから圧力があるのか。
総務部長 職員は入庁時、日本国憲法を尊重し擁護することを宣誓している。憲法にのっとり業務を遂行することは大原則である。圧力はないと思う。
問 鳥取県では、不適切な組織的慣行、上司の命令で個人の正しい認識や行為が歪められることを条例で戒めている。本市はそうした検証は必要なのか。
総務部長 職員の不祥事についてはさらに再発防止の

無所属

鈴木 亜紀子 議員

市民自治推進のための情報共有

問 市民自治を推進するために市民への情報公開は必要不可欠であるが、行政運営の基本となる条例規則、要綱などのうち、本市では要綱の公表が十分に行われていない。市民生活やまちづくりを考えるうえで重要な情報を含む要綱などの公表についての考えを伺う。
市民部長 要綱の統一的な公表はしておらず、市民に事業の内容や手続きの方法などを説明する一環として、必要に応じてホームページなどで公表している。また公表対象の統一的

な基準は定めていないが、他市では公表しているところもあるので研究したい。
問 審議会などの会議は行政課題や政策の方向性を審議する大切な場であるが、本市では開催案内や議事録の公表時期が他市と比べ遅い。見直すべきではないか。
市民部長 早めの公表や、公開期間の明記が必要だと考える。
公共施設における使用料等の減免
問 本市では、公共施設の利用における経済的、社会的弱者への配慮の基本的な考えとして、使用料の減免を位置づけているのか。
企画政策部長 受益者負担が基本であるが、必要があれば「その他市長が認めるもの」という例外規定で対応している。

音声・点字
議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお知らせする、音声版「声の議会だより」と点字版「ひらつか議会だより」を作成しています。

ご希望の方には郵送します。お近くに必要の方がいる場合はご案内ください。



☎ 議会局 (21-8791)

意見書の提出

「意見書」とは、市政の発展に必要な事柄の実現を、国や神奈川県など関係機関に要請するため、市議会の意思を決定し、表明したものです。

6月定例会では、議員提案による次の意見書を可決し、内閣総理大臣のほか関係機関に提出しました。

子どもたちにゆたかな学びを保障するために、少人数学級の実現、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書(抜粋)

子どもたちにゆたかな学びを保障するために、子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。

よって、政府におかれては、次の事項について配慮されるよう強く要望する。

- 1 子ども、保護者のニーズに応じたきめ細かな教育を実現し、ゆたかな教育環境を整備するため、少人数学級の実現と学級規模の弾力化を推進すること。
- 2 保護者負担軽減のため、教育予算を増額すること。また、義務教育教科書無償制度を継続すること。
- 3 義務教育制度は、教育の機会均等、水準確保、無償制を根幹としている。それを支えるための義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国の負担を最低でも従前の2分の1まで拡充すること。

専決処分を承認 市議会5月臨時会

去る5月15日、平塚市議会は臨時会を開催し、常任委員会委員などの改選を行いました。また、市長から専決処分に関する議案が提案され、審議の結果、次のとおり承認しました。

議案の審議結果

番号	件名	結果
市長提出議案 議案第41号	専決処分の承認について〔平塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例〕	承認
議案第42号	専決処分の承認について〔平成25年度平塚市一般会計補正予算〕	承認
議案第43号	専決処分の承認について〔平成25年度平塚市競輪事業特別会計補正予算〕	承認
報告第2号	専決処分の報告について	